

## 生活関連物資定期調査の結果について

生活関連物資16品目（石油製品4品目、農林水産物資12品目）について、2月7日～10日に価格・需給状況を調査しましたが、その結果については以下のとおりです。

## 1 価格動向

## ① 石油製品

(単位：円（消費税込み）)

品目名	規格・容量	店舗形態	今回調査の 平均価格	前回調査 (12月)の 平均価格	対 前回比 (%)	前年同月 の 平均価格	対 前年比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	137	132	3.8	130	5.4
		セルフ	135	129	4.7	128	5.5
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	116	113	2.7	110	5.5
		セルフ	114	109	4.6	108	5.6
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,503	1,363	10.3	1,262	19.1
		セルフ	1,486	1,340	10.9	1,228	21.0
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,628	1,485	9.6	1,385	17.5
LPガス	一般家庭用、基本料金及び10m <sup>3</sup> を使用した料金	一般店舗	7,445	7,388	0.8	7,442	0.04

## ② 農林水産物資

品目名	規格	今回調査の 平均価格	前回調査 (12月)の 平均価格	対 前回比 (%)	前年同月 の 平均価格	対 前年比 (%)
うるち米	県内産、精米、コシヒカリ、5kg	2,022	2,136	▲5.3	2,196	▲7.9
牛肉	ロース 100g	326	355	▲8.2	346	▲5.8
豚肉	ロース 100g	178	188	▲5.3	195	▲8.7
鶏肉	ブロイラー、もも肉、100g	106	118	▲10.2	116	▲8.6
まぐろ	赤身(生)、切り身(刺身用)、「めばち」 または「きはだ」100g	387	432	▲10.4	376	2.9
キャベツ	中サイズ 1個	213	216	▲1.4		
ほうれんそう	1束	172	128	34.4		
ねぎ	中サイズ 1本	57	48	18.8		
だいこん	中サイズ 1本	142	121	17.4		
たまねぎ	中サイズ 1個	55	52	5.8		
にんじん	中サイズ 1本	60	58	3.4		
白菜	中サイズ 1個	263	247	6.5		

(備考)

- ・農林水産物資のにんじん、白菜の2品目については、12月調査から季節監視品目として追加した。
- ・農林水産物資のキャベツ、ほうれんそう、ねぎ、だいこん、たまねぎの5品目については、平成22年8月調査から規格を変更した。

## 2 結果の概要

### 【石油製品】

- ・原油価格の上昇等により、前回調査(平成22年12月)と比較して、「ガソリン」が対前回は5円高(3.8%)、「軽油」が3円高(2.7%)、「灯油」が140円(1ℓあたり7.8円)高(10.3%)、「LPガス」が57円高(0.8%)と、すべての品目で値上がりとなった。
- ・特に、需要のピークにあるとともに寒波等の影響を受け、灯油の値上がり幅が大きくなっている。
- ・直近では原油価格が値下がり傾向にあるが、海外原油市場の動向と併せ、石油製品の価格・需給動向を引き続き注視していく。

### 【農林水産物資】

- ・「ほうれんそう」が対前回は44円高(34.4%)、「ねぎ」が9円高(18.8%)、「だいこん」が21円高(17.4%)、「たまねぎ」が3円高(5.8%)、「にんじん」は2円高(3.4%)、「白菜」が16円高(6.5%)となり、大雪等の影響により野菜の価格が上昇した。
- ・需給状況に特に変化は見られなかった。
- ・今後、鳥インフルエンザの拡大が続けば鶏肉等の価格上昇が懸念されることから、農林水産物資の価格・需給動向を引き続き注視していく。

### 【生活関連物資定期調査の調査方法等について】

#### ①調査方法

県内7地方振興局において、調査期間中に原則、調査店舗に出向き、当該店舗において表示価格の確認及び聞き取りにより価格を調査する。

#### ②調査の時期：

四半期に1回の調査とし、調査時期は、5、8、12、2月とする。

#### ③対象店舗数：

非定店舗35店舗(各地方振興局5店舗)

○「石油製品」については、調査店舗の内訳を下記のとおりとする。

ガソリン：一般店舗3、セルフスタンド2、軽油：一般店舗3、セルフスタンド2

灯油(店頭)：一般店舗3、セルフスタンド2、灯油(配達)：一般店舗5

LPガス：一般店舗5

○「農林水産物資」については、原則として、35店舗とする。